



<第1部 講師> 佐々木 規子 先生

長崎大学生命医科学域看護学系リプロダクティブヘルス分野 助教

1993年長崎大学医療技術短期大学部特別専攻科助産学特別専攻修了。その後、現長崎大学病院で6年間の助産師勤務を経て、1998年母校の長崎大学医療技術短期大学部へ助手として着任。病院勤務で経験した胎児異常の母親へのケアで抱いた無力感を忘れられず、2003年に信州大学大学院遺伝カウンセラーコースへ進学。臨床遺伝学、遺伝カウンセリングを学ぶ。2005年に現在の職場へ助手として着任。同年、認定遺伝カウンセラーの資格を取得し、長崎大学病院の遺伝カウンセリングに従事。併せて長崎大学遺伝教育プロジェクトメンバーとして、子ども達に遺伝の本質である「多様性」、「唯一性」に基づく生命の尊厳を伝える講座を開催。

<第2部 講師> 石井 千賀子 先生

TELLカウンセリング 家族療法家 ルーテル学院大学 非常勤講師

米国家族療法学会および日本家族療法学会認定スーパーヴィアザー。米国バトラー大学大学院修士号（夫婦家族療法専攻）取得。統合的家族療法と「あいまいな喪失」の臨床と教育に携わる。著書に「ミドルエイジの問題：家族療法の視点から」（キリスト新聞社）監訳書に「あいまいな喪失とトラウマからの回復：家族とコミュニティのレジリエンス」（誠信書房）など。

「あいまいな喪失」を提唱するボス博士は、セラピスト自身の原家族体験が対象者との関係性にもちこまれ、セラピーに影響が出ることがあるため、セラピストの原家族ワークを勧めています。当日、安全な関係を作り出しながら、各自のジェノグラムを丁寧にふり返り、支援者自身のテーマに気づき、さらにレジリエンスにも目を向けることを目指します。

受講申し込み書

フリガナ			
氏名	ご所属		
所属			
連絡先	* ○をおつけ下さい 勤務先 ご自宅		
	〒 住所:		
	電話:	E-mail:(必須)	
懇親会への参加	* ○をおつけ下さい 希望あり 希望なし		

FAX送信先: 甲南女子大学 瀬藤乃理子 FAX番号 078-413-3629

* 受講者の方に、事務局より連絡が入る場合がございますので、必ずメールアドレスは楷書で書いて頂きますようお願い致します。



○「第9回複雑性悲嘆研修会」のウェブページができました。グリーフ&ビリーブメント研究会のウェブサイト（<http://gandb.net/>）でご覧いただけます。グーグルやヤフーなどの検索サイトでは、「複雑性悲嘆研修会」と検索すると、アクセスできます。

○CG(複雑性悲嘆)研修会の案内をご希望の方は、甲南女子大学の瀬藤（noriko@konan-wu.ac.jp）または noriko.setou@gmail.com) までメールでご連絡下さい。